**3-2-1文字①（文字の種類）**

文字、表記、

表意文字　表音文字

リード文　日本語の特徴としての表記システムを捉え、そのビジュアルな意味や、指標的機能に気づき、日本語を相対化し、その特徴を活かしたことばの力を養う。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **ねらい**：日本語の多様な表記とその実際の使用における意味に気づく。 | | |  | |
| 対象：高学年以上／中学年／N１／指導者（地域日本語ボランティア・　日本語教員養成講座履修学生 | | |  | |
| 所要時間 | ： | 小学生から大学生、日本語教育養成課程履修生　指導者（地域日本語ボランティア日本語教員養成講座履修生 | |
| 準備 | ： | 45～50分 | |
| 進め方 | ： | フラッシュカード：「にっぽん」「日本」「ニッポン」「Nippon」模造紙、飯色ペン、ポストイット（ワークシート） | |
| 留意点 | ： | 1. 日本の文字には何種類の文字かを気づかせる。 2. 漢字が日本の最初の文字であることを気づかせる。 3. １つのことばを色々な文字で表せること知らせる。   例「にっぽん」→　　　　　　　　　　　　　　　　　　活動１   1. それぞれどのように学習したか考える。　　　　　　　　活動２ 2. 日本語のカタカナが外来語以外にも使われていることに気づかせる。   　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　活動３   1. 表音文字と表意文字の違いを発見させる。　　　　　　　活動４ 2. 日本語の複数表記が世界の言語で珍しいことに気づかせる。。 | |
| 準備 |  | フラッシュカード：  外来語のカタカナと外来語以外のカタカナのことばを集めておく。 | |
| 発展 | ： | 対象者に合わせた時間配分や表現を工夫する。 | |
| コラム　：日本語を勉強している外国人から、漢字が難しいと良くききます。  それでは、日本語の漢字もカタカナもなくして、多くの国のように、文字を１つにした方が良いでしょうか？　話し合ってみましょう。 |  |  | |

タスクシート

活動１

　　（１）「にっぽん」をいろいろな表記で書いてみよう。

　　　それぞれの表記で、何かイメージが違いますか？

　　　　　　日本、ニッポン、Nippon、 nippon

　　（２）「がんばれ、ニッポン！」

　　　　　これは、東日本大震災が起きた後すぐ、新聞で見たものです。

1. どうして日本ではなく、カタカナで「ニッポン」と書かれたと思いますか。
2. あなたならどの文字を使いますか。それはなぜですか。

活動２：次の文字は、それぞれいつ、誰に、どこで教えてもらいましたか。

　　　　　　（親、兄弟、幼稚園、学校等）

　　ひらがな　　カタカナ　漢字　　ローマ字

活動３：次のカタカナ表記について、カテゴリー分けしてみましょう。

　　チョコレート　バナナ　リンゴ　ライオン　イヌ　バラ　サクラ　クルマ

外来語以外で表記されていることばはどれですか？

それはなぜだと思いますか。

活動4： 以下の文字を声に出して読んでみよう。気づいたことを話し合ってみよう。

　　　「い」「イ」「胃」「i」

　　　「え」「エ」「絵」「e」